

11/13

思いやり・までいラリー

ピンポン大会

ピンポンで“までい”を理解

人生は思いやりのラリーです



▲村独自のルールで球を打ち合う参加者ら

「思いやり・までいラリーピンポン大会」が、飯館中体育館にて行われ、参加者らが卓球を通して「までい」を感じながら、交流を深めました。

この大会は、思いやり・までいラリー事業実行委員会（庄司和明実行委員長）が、これまでとは違った価値観や今の時代に大切な精神を広く理解してもらうことを目的に、県地域づくりサポート事業の助成を受け、初めて実施したものです。

大会には、村内外から卓球愛好者や卓球の初心者など120人が参加。

また、飯館中卓球部がスタッフとして大会運営をサポートしました。

ルールは、通常の卓球とは異なり、相手といかに長くラリーを続けられるかという村独自のもので行われました。

参加者らは、独特のルールに初めは戸惑いを見せていましたが、慣れて

くると次第にラリーの時間が長くなり、なかには制限時間の10分を超えて続けたペアも。

大会後、参加者らは「通常の卓球よりも難しかった」、「相手を思いやる気持ちを持って打ち合っている人間の生き方を反映しているようだ」などと感想を話していました。小学生からお年寄りまで幅広い年代が参加した今大会。会場は、終始和やかな雰囲気にも包まれていたようです。



▲大会のようす

大会結果

（敬称略）

各部門の1位のみ

思いやりの部（ペア）

【夫婦の部】

1位 林 正好・愛子

（白石）

【親子の部】

1位 大澤和己・千恵

（上飯樋）

ふれあいの部（二般）

【小学生の部】

1位 松下 凌

【中学生の部】

1位 藍原亮介

【二般の部】

1位 花井絹子

【60歳以上の部】

1位 加藤方孝



▲審判は中学生が担当